



社訓\*誠実\* 社長室だより



2019年2月末号

左上は60年前、我が初節句の写真である。今年もこのひな飾りの人形だけは我が家に飾っている。お内裏様もお姫様も髪の毛が抜け始め、お供え物も色あせて、まるで自身の分身のように年齢を感じさせている。男の子が二人続きどうしても一人女の子が欲しかったと8年も二男と間が空いて誕生したので幼い頃より一人っ子の様に育った気がする。母と事務員1名しか女性がいなく、寮で乗務員と酒ブタ飛ばしや食堂で卓球をよくしていた。社員旅行や夏は平和島温泉で宴会等もしたし、今では考えられないほど社内レクを実施していた。現在は就業時間もバラバラ、休日もバラバラで平成の初めまでかろうじて実施していた年末の納会すら出来ないでいる。「寂しいな～」と思うのは私だけかな？賞与が無いなら集まっても!?!とっていますか？月に一度いろんなこと書いて皆さんに私の事、私の考え方、皆さんに望む事などを伝えているのですが本当は直接語り合いたいのですよ。医学的にも人の心（記憶）に残すためにはたくさんの情報が脳に入ると脳はそれら多くの情報を整理して必要でない判断した事柄（情報）を消却するそうです。何度も同じ情報（事柄）が入ると頭の中の記憶をつかさどる「海馬」がこれは重要だから記憶に留めようと働き、自分の知識として定着するそうです。だから何度も皆さんに本当は直に言い続け、皆さんの心にアプローチし続ける事が必要なのです。年齢と共に心（脳）に壁が出来てストレートに伝わらない事や理解に時間はかかるけど今や92歳になった母でさえデイサービスに毎日いく事を1年過ぎたら習慣になり反抗せず自分でしたくできるようになりましたよ（苦笑）。「桃の節句・ひな人形」を出すたびに両親が愛しみ育ててくれた事。自分の子供への想いがよみがえり、同じように皆さん方とその家族の生活の基盤であるこの事業を何としても少しでも居心地良く成長し続ける様にしなければと自分の「海馬」に植え付けているのであります。だから皆さん今後もお付き合いヨロシク!!!

Happy  
birthday

3月にお誕生日を迎える方



3月8日	新原 克彦	平塚 郵便
3月22日	石川 耕三	平塚 豊洲便専属
3月25日	中村 慶孝	本社 横浜低温便
3月27日	鈴木 基寛	本社 食材アルバイト